

運を變せんが爲に、僧家漫に福德、彌勒、命祿等の號を設けしを、頑民年號の重事なるを玄らざる故に、猥に流傳せしもの也。武家の記錄に是號を用ひし事なきは、士大夫以上に及ばざりし事亦以て見るべし、是號豆相等に限る、この故に今に至て、これを關東の僞年號と稱すと云。

〔逸年號考〕福德元年庚戌

常陸赤濱妙法寺過去帳

甲斐妙法寺記、延徳元年の下に、元年に係けたるは誤にて、下の二とあると、互に文字、京に王崩御とての墓を誤りしとみゆ。福德二庚年と年號を改る也。二の元なること、下文

福德二年辛亥

鎌倉光明寺額裏書、新編鎌倉志、鶴岡八幡宮座不冷所著到軸、赤濱妙法寺過去帳

鎌倉光明寺額裏書に、後土御門院宸筆、延徳二年亥九月吉日、また鎌倉鶴岡八幡座不冷所著到軸書に、福德二年正月一日とあり。○中さてこの庚戌は延徳二年庚戌、辛亥は延徳三年辛亥にあたれる事、妙法寺過去帳、延徳二三年の旁書に、福德元年、福德二とあるにて明らかなり。

〔會津雜事考〕承安元年辛卯

耶麻郡新宮神器銘曰

大勸進僧淨尊證一

會津地頭代左兵衛少尉藤原知盛

小守宮預所代右兵衛少尉平國村

新宮彌勒元辛卯二月二十一日

伏案人王三十七代孝德帝之時、始自有曆號以降、終無有彌勒者、且自有曆號後、大歲在辛卯者、四十四代自天武帝朱鳥五年辛卯迄慶安四年辛卯、凡十餘回、其中當曆元年者、六十代朱雀院承平與茲歲、徒兩回耳、然彌勒者可茲歲乎如何者、於去年庚寅九月櫻梅桃李皆華也、量下愚之輩、相謂可言彌勒、出世之先兆也、幸今歲帝者改一元、故爲俗戲可言彌勒元年、然以神器不謹、後鑑如此記乎、細於書法